

令和7年第1回姫路市議会定例会（未定稿）

令和7年3月6日（木）

○下林崇史議員（登壇）

日本維新の会、下林崇史でございます。

通告に基づき、4項目について質問いたします。

1項目めは、昨年1月15日から導入された、救急安心センターひめじ#7119についてお伺いいたします。

同じ内容の質問が先日もあり、重複いたしますが、ご容赦願います。

この年末年始は特に救急車の出動件数が非常に多く、1日の平均出動件数が96.4件に対して、昨年12月30日は159件、今年1月4日は162件と過去最高の出動件数となり、人口は減少しているにもかかわらず、全ての救急車が出動している状況もあり、かなり逼迫した状況が続いたとお聞きしております。

最近、皆様も感じられているかと思いますが、私も毎日5回以上は救急車を見たり、サイレンを聞いたりしております。

このような状況が続くと、本当に救急車が必要な方のところへ到着が遅れ、救える命が救えなくなる場合も予測されます。

そこで質問いたします。

令和6年1月15日に#7119の導入から1年が経過しまして、実際に相談件数は1万7,554件あると伺いましたが、利用者の一番多い年代と、また、どのような相談内容が多いのか、上位3項目を教えてください。

以上で、私の1項目めの質問を終わります。

○宮下和也議長

峯野健康福祉局長。

○峯野仁志健康福祉局長

お答えいたします。

相談件数の内訳でございますが、年代別では、大まかな区分となってしまいますが、16歳から64歳までが一番多く、相談内容の上位3項目は成人の発熱、成人の腹痛、小児の発熱の順となっております。

以上でございます。

○宮下和也議長

17番 下林崇史議員。

○下林崇史議員

ご答弁いただきありがとうございます。

年齢区分は幅広いですが、16歳から64歳が最多で、発熱

や腹痛のご相談が多いと認識いたしました。

その数字をお聞きしましたら、たくさんの方にご利用いただいているかと私は思いましたが、以前、北窓医監にご答弁いただいております、「総務省消防庁とも相談しながら検証を続けてまいります。」とのことでしたが、そこで再質問いたします。

導入から1年が経過し、効果の検証結果を発表いただきたいと思っております。

よろしくお伺いいたします。

○宮下和也議長

峯野健康福祉局長。

○峯野仁志健康福祉局長

導入後の効果を検証したところ、119番による医療機関等の問合せ件数や救急搬送人員に占める軽症者割合が減少しており、消防局の負担軽減につながったと考えております。

特に、軽症外傷に対応していただける医療機関につきまして、これまで市民からのお問合せにお答えすることができませんでした。#7119の導入によりご案内が可能となったため、迅速な受診につながるとともに、医療機関の負担軽減にも寄与できたのではないかと考えております。

以上でございます。

○宮下和也議長

17番 下林崇史議員。

○下林崇史議員

ご回答ありがとうございます。

一定の導入効果があったことを認識いたしました。

昨年の12月からは、姫路市の公式LINE、防災安全ページにも掲載されたり、また、一部の農園の方に協力をいただき、野菜の梱包袋に2次元バーコードのPRシールを貼り、スーパーで野菜を購入する方々への認知度を上げるために様々な周知活動も実施されているとお聞きしております。

今後も、救急車の出動が少しでも逼迫することがないように、引き続き市民への認知向上のための周知活動をいただき、年に一度は検証結果も広報ひめじやホームページに公開いただけますよう要望しまして、次の質問に移らせていただきます。ありがとうございます。

2項目めは、昨年9月の本会議で質問いたしました、市立小中学校等の不審者対策用防犯カメラについてでございます。

調査結果を確認しましたところ、校名はお伝えできませんが、アンケートの回答には、「PTAや自治会から設置希望の声が強くなってきている。」や、「設置主体が学校の予算では厳しい。」や、「すぐにでも設置したいが、予算がない。」など、回答を見て大変危機感を感じましたので今回改めて質問させていただきます。

また先日、警察の方にもヒアリングをさせていただきましたところ、市内の学校に、深夜、赤外線センサーの警察直通またはセコムの通報装置から通報があり、不審者侵入で駆けつけられ、実際はほとんどが動物の侵入のようですが、万が一教室等に不審者が隠れている場合もあるので、校内をくまなく捜査が必要とのことで、毎度かなりの時間を要していると伺いました。

ただ、防犯カメラが設置している学校ですと動物や人の侵入経路などもすぐに判明し捜査効率がよくなるので、ぜひ設置していない学校には設置してもらいたいとお声もいただいております。

さらに、設置を希望している学校長からお聞きしましたが、昨年に実際、不審者が出て騒ぎになったともお聞きしております。

昔はセンサーのみが主流でしたが、今の時代に即した子どもたちや職員の安全安心のためにも、防犯対策を早急に考えなければいけない時期に来ていると思います。

昨年9月の本会議では、平山教育次長は、「不審者対策用防犯カメラ等の予算化に向けて前向きに検討してまいります。」とご答弁をいただいておりますが、その後、現在の進捗状況をお聞かせください。

○宮下和也議長

平山教育次長。

○平山智樹教育次長

お答えいたします。

不審者対策用防犯カメラにつきましては、令和7年度は新たに設置するものはございませんが、今後も予算化に向けて検討してまいります。

以上でございます。

○宮下和也議長

17番 下林崇史議員。

○下林崇史議員

ご答弁ありがとうございます。

全ての子どもたちが同じスタートラインに立つことができる環境を整えることが必要であると、教育基本法にも

明記されております。子どもが平等に教育を受ける権利を保障することも目標となっております。

昨今、いつ犯罪に巻き込まれるかもしれない環境の中であることは十分にご理解いただいているかとは思いますが、また、親として子どもを守りたいという気持ちは、全ての親に共通する強い思いでございます。

そこでお尋ねいたします。

例えば、市内のAの学校には、最新のモニター付き防犯カメラシステムが設置されています。片や、Bの学校には、20年以上前に防犯カメラが設置され、現在故障しているが予算がないので修理や購入もされずにそのまま放置されています。

親の目線になったとき、単純にどちらの学校へ自分の子どもを通わせたいでしょうか。お答えください。

○宮下和也議長

平山教育次長。

○平山智樹教育次長

その両者でございますけれども、まず全体的に見まして、安全対策というものは防犯カメラだけではなくて、いろいろな面、フェンスであったり、人の目であったり、そういうものがございますので、安全対策につきましては1つの事柄でなくて、総合的にやっぱり判断していくべきものであるというふうには私は考えております。

以上でございます。

○宮下和也議長

17番 下林崇史議員。

○下林崇史議員

ご回答ありがとうございます。

これは、市民、保護者からの声を代弁しております。ぜひとも平等に対応していただきたいと思っております。

また、ふるさと納税を活用したクラウドファンディングシステムを今回、教育委員会が実施され、久保田教育長のプレゼン効果もそうじて685万円の寄附があり、素晴らしい成績で達成されていますが、同じように他都市でも調べましたところ、こちらのシステムを利用して、岡山県の里床町では、子どもたちの笑顔を守りたいと、防犯カメラ設置プロジェクトが実際に活用されているようでした。

本市も、姫路の未来を担う大切な子どもたちへ、安全対策の予算化が厳しいとおっしゃるのであれば、ほとんど本市が予算を投入することなくこのシステムを利用することができるとお聞きしましたので、空き教室のリノベーシ

ョンも大切ですが、安全安心対策へのご賛同とご寄附を募り、今後活用されてははいかがでしょうか。ご見解をお聞かせください。

○宮下和也議長

平山教育次長。

○平山智樹教育次長

議員ご指摘のようなクラウドファンディングを活用することも考えられますが、防犯カメラは維持管理費も必要になってまいります。

そういう辺りにつきまして、クラウドファンディングの活用につきましては、調査研究が必要じゃないかなと考えております。

以上でございます。

○宮下和也議長

17番 下林崇史議員。

○下林崇史議員

ご答弁ありがとうございます。

子どもたちの安全を考えると、基金の切崩しも少し検討していただきたい案件ではございますが、幅広い分野にもこのクラウドファンディングシステムを活用して、アンケート調査にもありましたが、すぐにでも設置してほしい学校についても、早期に解決につながるのではないかと考えます。

ぜひとも、久保田教育長にもプレゼンで協力いただき、積極的に活用いただきたいと強く要望して、次の質問に移ります。

3項目めは、大阪・関西万博開催期間中、来姫者へのおもてなし施策について2点お伺いいたします。

4月13日から10月13日の184日間には、市内を多くの観光客が訪れることが予測されております。

そこで、私も何かおもてなしのイベントができないかと考え、1月に提案をさせていただいておりました。こちらのイメージボードのように、期間限定で播州秋祭りの祭り屋台をイーグレひめじのガラス張りの1階部分へ、1基または2基展示できないかと提案いたしました。

イーグレひめじ管理会社さんとも話を重ね、搬入口から設置場所等も確認しまして、イーグレひめじ管理会社さんからは、「ぜひともにぎわいにつながるので、この機会に設置いただけると嬉しいです。」とのお声もいただいております。

祭り屋台については、書写の里・美術工芸館や歴史博物

館等で現在展示されているものを期間限定でお借りするなど、昔使用していた祭りイベントのパネルなども展示したり、各地域のカラフルなシデ棒で会場を装飾したり、また、屋台文化保存連絡会の方には、ミニチュアの屋台はお貸しできますともお話をいただいております。

過去にイーグレひめじの意義について当局にご答弁いただいておりますが、イーグレひめじは中心市街地のにぎわいを増大させ、市民自らが多様な芸術・文化に触れ合うなど、主体的な活動の展開が促進される施設となることを期待しており、一方で、空きテナントが複数あるため、さらなるにぎわい創出に向け検討を進めているところでございますとの回答もいただいております中、先月、大前観光経済局長より、こちらの企画は難しいとのご返事をいただきました。

今回提案させていただいた、「(仮称)万博開催記念 播州秋祭り 屋台展示」はどのような点が難しいのでしょうか。ご所見をお聞かせください。

姫路の伝統ある播州秋祭りの豪華絢爛な屋台を、インバウンドの方はもとより、日本全国から来られる観光客の方々におもてなしの1つとして展示して、また、秋祭り際には再び姫路へ来ていただけることにもつながる絶好のチャンスではないかと考えております。

2点目は、大阪・関西万博期間中の中心市街地にぎわい創出であります。市民からも大変好評いただいております。大手前通りイルミネーションも万博開催期間中まで延長しての開催や姫路城の特別公開、また、姫コン2025や高田賢三展、さらに、伝統文化を生かした姫路城での獅子舞、太鼓等による特別なおもてなし、また、美術館の所蔵品とオールひめじアーツ&ライフ・プロジェクトのコラボ展示など、盛りだくさんな企画で観光客へのおもてなしを予定されており、期間中には姫路城で使えるデジタルチケットの試験的導入も予定いただいております。

そこで質問いたします。

姫路に宿泊をいただくためのホテルや旅館等へのご案内、また、万博でPR出店予定のG I はりまの日本酒や地場産品など、万博会場で姫路のブースを見られた多くの方々、姫路のこのお店でおいしいお酒や姫路グルメ、姫革や工芸品など、飲食、購入案内が掲載されたガイドマップは作られているのでしょうか。

観光コンベンションビューローや商工会議所等、官民連携して政策を進めていただきたいと思いますと思うのですが、例えば、

姫路城デジタルチケットや各観光地のチケット販売時にも2次元バーコードを掲載して、販売サイトやお店の案内ページへ誘導したり、また、各案内所等でもいわゆるQRコードを掲載したカードを配布するなど、さらに今回発表された本市のブランドメッセージ「住むほどに“好き”が深まる “姫”のまち」も発信して、誘客促進にぜひ実施していただきたいと思いますが、ご所見をお聞かせください。

以上2点、よろしくお願いたします。

○宮下和也議長

大前観光経済局長。

○大前 晋観光経済局長

お答えいたします。

まず、1点目のイーグルひめじ1階での祭り屋台展示でございます。

現在、本市の玄関口でありますJR姫路駅新幹線コンコースをはじめ、書写の里・美術工芸館や県立歴史博物館において常時展示しており、本物を身近に見ただけの状況でございます。

そのため、新たに経費をかけてイーグルひめじにて展示をすることは考えておりません。

一方、万博期間中における本市のおもてなしといたしまして、姫路の秋祭りで祭り屋台とともに欠かせない伝統芸能である獅子舞や和太鼓の演舞を、5月及び6月に姫路城で予定しております。

また、イーグルひめじにおきましても伝統文化に触れていただく機会を提供するため、5月16日に開催する第54回姫路城薪能の前後の5月10日から18日の間に、薪能で使用する能面や衣装を展示する姫路城薪能展示を計画しております。

次に、2点目の中心市街地のにぎわい創出についてでございますが、現在、姫路観光コンベンションビューローが主体となりましてディナーマップや観光ガイドブックなどを作成しておりまして、観光案内所等で配布しているほか、姫路市や姫路観光コンベンションビューローのウェブサイトでも、観光施設をはじめグルメ、土産など多彩な観光情報を発信しております。

また、今回発表されましたブランドメッセージ「住むほどに“好き”が深まる “姫”のまち」につきましては、パンフレットなどの広報物やウェブサイトへの記載によってPRに努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○宮下和也議長

17番 下林崇史議員。

○下林崇史議員

それぞれご答弁いただき、ありがとうございます。

まず、イーグルひめじの祭り屋台の展示でございますが、184日間の開催期間がありますので、せめて少しでも、短い期間でもご検討はいただけないでしょうか。

○宮下和也議長

大前観光経済局長。

○大前 晋観光経済局長

繰り返しの答弁になりますが、やはり本物を見ていただけたところが3か所ございますので、そちらのほうを使ってやっていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○宮下和也議長

17番 下林崇史議員。

○下林崇史議員

ご答弁ありがとうございます。

ぜひともですね、費用は少しかかるかもしれませんが、この期間、姫路の魅力をたっぷりPRできるチャンスかと思っておりますので、ぜひとも前向きに進めていただきたく要望して、次の質問に移らせていただきます。

4項目めは、少子化対策における出会いから結婚支援について、2点お伺いたします。

最近是他都市に行かせていただく機会が増えまして、様々な分野について勉強してまいりましたが、本市が現在進めている出会いから結婚支援については、他都市に比べても着実に前進していることを実感しております。

イルミネーションでロマンチックな演出をして、出会いの創出や、マッチングアプリ提携会社も増え、結婚相談所の利用料金の助成など、また、人気の姫路観光出会い支援イベントも大変充実しております。

そこで質問いたします。

マッチングアプリ事業者と提携してから1年以上が経過いたしますが、今後のさらなる展開をどのようにお考えでしょうか。

また、世界遺産姫路城マラソンの翌日、2月24日に開催された姫路観光出会いイベント「恋するバス旅 サファリ・ブライダル編」が開催されました。

今回、申込みが75名あったと伺っております。参加者は

チャーターバスで移動し、サファリパークやアイススケートを楽しみ、その後、市内の結婚式場へ移動され、チャペル貸切りで模擬結婚式も行われ、実際私も当日チャペルへ見学に行かせていただきましたが、参加者からは、「今日1日とても盛りだくさんな内容で、なかなか普段経験ができないこともさせてもらった。」や「結婚式のよさを体験できてよかった。」など、うれしいお声をたくさんいただきました。

今回は男性15名、女性16名の参加で、めでたく4組のカップルが誕生となりました。まさしく、結婚への機運が高まったイベントとなっております。

そこで質問いたします。

来年度の少子化対策の出会いから結婚支援事業の計画をご教授ください。

以上2点、よろしく願いいたします。

○宮下和也議長

松本こども未来局長。

○松本 浩こども未来局長

少子化対策における出会い結婚支援事業についてお答えいたします。

マッチングアプリ事業者との連携におきましては、令和6年度に姫路市が補助した件数は、令和7年2月25日時点で33件でございます。

さらなる事業展開といたしましては、これまで、より若い世代へのインセンティブとなるように、20代と30代の間で補助金額に差を設けまして、20代を手厚く補助しておりましたが、晩婚化対策強化の観点から、令和7年度から30代も20代と同額を補助することを検討いたしております。

また、出会いイベントにつきましては、今年度人気の高かった家島諸島での1泊2日のキャンプツアー等を参考に、観光資源を活用することで本市の魅力を体感できるイベントを実施をして、出会いのまちひめじとして、1つでも多くのすばらしい出会いが生まれるように取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

○宮下和也議長

17番 下林崇史議員。

○下林崇史議員

それぞれご回答いただきありがとうございます。

マッチングアプリに関しましては、引き続き、さらなる

サービスの充実、また、利用者の促進をしていただきたいと思います。再質問させていただきます。

現在マッチングアプリに関しましては、どのような媒体でPR促進を行っているのでしょうか。

まだまだ浸透していないように感じますが、ご見解をお聞かせください。

○宮下和也議長

松本こども未来局長。

○松本 浩こども未来局長

マッチングアプリにつきましては、広報ひめじ、あるいは本市ホームページをはじめ、公式エックスですとか、あとフェイスブック、あとLINEなどで告知をしてまいりました。

今後も、様々な媒体を活用して、事業PRに努めてまいります。

以上でございます。

○宮下和也議長

17番 下林崇史議員。

○下林崇史議員

ご答弁いただきありがとうございます。

姫路観光出会いイベントにつきましても安心して参加できると大変人気となっておりますので、開催回数を増やすことも検討いただき、例えば模擬結婚式の際には、サブライズで市長が新婦のお父さん役で登場されたり、または牧師さんの役で登場されるなど、若者にも寄り添っていただき、盛り上げていただけると幸いです。

来年度もこの人気の少子化対策を全国にも発信していただき、前回の市長からのご答弁どおり、出会いのまちひめじとして、1組でも多くの方々に、この出会いサポートで結ばれ姫路で結婚されるご夫婦へ、市長からのお祝いメッセージをたくさんの方へ届けていただきたいと思います。

少子化は急速に進行しており、深刻な問題となっております。今後も引き続き充実した支援を要望しまして、私の質問を終わります。

ありがとうございました。

○宮下和也議長

以上で、下林崇史議員の質疑を終了します。